国際シンポジウム
『アントレプレナーシップと経済活性化』
（参加無料・同時通訳付）

日時：2017年5月19日（金）18時30分～20時30分（18時00分開場）

場所：関西学院大学 大阪梅田キャンパス（アプローズタワー）14階1405教室
アクセスマップ： http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/access/index.html

主催：関西大学経済政治研究所，関西学院大学産業研究所・イノベーション研究センター・経済学セミナー，
神戸大学大学院経営学研究科（日本学術振興会科学研究費補助金『地方創生を支える創業ファイナンスに関する研究』（基盤研究A、JP16H02027））【50音順】
協力：関西学院大学経営戦略研究科イノベーション研究会

シンポジウム趣旨

イノベーションや経済成長を実現する上で、スタートアップ企業（ベンチャー企業）の出現や成長は大きな役割を果たすと考えられます。しかしながら、日本では開業率が長年低迷し、スタートアップ企業を通した産業の発展は思うように行っていないのが現状だと言えます。「アベノミクスの第3の矢」と呼ばれた政府の成長戦略では「産業の新陳代謝とベンチャーの加速」が掲げられていたように、起業家支援とそれにともなう経済成長に注目が集まっています。

当シンポジウムでは、起業家やスタートアップ企業の経済における役割を認識するとともに、その成長や育成のための課題について、欧州および日本において第一線でご活躍の研究者および実務家で議論していきます。

プログラム

開会挨拶・講演者紹介 加藤雅俊（関西学院大学イノベーション研究センター研究員・経済学部准教授）

基調講演 (18:30-19:20)

Roy Thurik
オランダ・エラスムス大学ロッテルダム校教授，関西大学経済政治研究所招へい研究者

“Entrepreneurship in the modern economy:
How entrepreneurship changed the economy since the 1990s and keeps doing so”
「現代経済におけるアントレプレナーシップ：1990年代以降の経済をいかに変えたか」

ゲスト講演「日本からの教訓・課題」(19:20-19:50)
本庄裕司（中央大学商学部教授）
松本直人（フューチャーベンチャーキャピタル代表取締役）

パネルディスカッション（19:50-20:30）
モデレーター：岡室博之（一橋大学経済学研究科長・教授，日本中小企業学会会長，企業家研究フォーラム副会長）
パネリスト：Roy Thurik，本庄裕司，松本直人

＜参加には事前登録が必要です＞

下記のいずれかの方法でお申込みください。
ただし、定員に達した場合は締め切る場合がございます。

1. E-mail送信による登録
登録先：関西学院大学産業研究所 kouen519@kwansei.ac.jp
件名には「シンポジウム登録」と記し、御名前、御所属を添えて送信してください。

2. 下記フォームより登録（右のQRコードをご利用ください）
https://goo.gl/forms/DPvJhrSonbGhsJvS2